

特集 歴史とたたかう結婚／ペ・ヨンジュンの抱負

AERA

'08.11.3

No.49定価360円

アエラ





photo 小野庄一

タイヤとダイヤの遭遇

『Road Sign ? Diamond』

(2008年)
壁画

鈴木ヒラク

すずき・ひらく
(1978年～、宮城県生まれ)

鈴木ヒラクの移動手段は自転車だ。どこへ行くにも道のりの地形や景色を、視覚情報に限らず、頭と心と肉体によってトレースしてゆく。自身の身体とタイヤの軌跡を同期させながら、記憶された情報。そんな記憶を紙のうえにペンで写し出すドローイング(素描)が、日課のようにになっている。

横断歩道が接近していることを示す道路上の菱形の白線が、いつものように自転車を走らせているときに突然目の前に立ち上がり、強烈に彼の脳裏に刻印された。この壁画を描いたとき、じつは前夜までまったく異なる絵柄が壁を覆い尽くしていた。しかし翌朝、壁は真っ白に塗り戻され、シルバールの菱形が描かれたのだ。

私たちは日々さまざまな経験を記憶し、伝えようとする。この壁画のダイヤモンドは、見る者の身体に突き刺さるように迫ってくる。彼が路上で感じたように。

ライター
原 久子